

みなかみ町長のセクハラ問題と議員団長の辞職について

2018年6月6日 日本共産党群馬県委員会

5月2日に発覚したみなかみ町長のセクハラ問題に対し、5月10日、臨時町議会で町長への辞職勧告決議案が提案され、2人の日本共産党議員も賛成しました。ところが、6月定例議会の冒頭不信任決議案が提出されると、党の2人の議員は反対の立場をとり、団長は反対討論までしました。この結果、4分の3の賛成が必要な不信任決議案は賛成12、反対6で否決されることになりました。これは、セクハラ問題の解決を願う有権者の願いを裏切る行為であるとともに、セクハラ問題の根絶をめざしている党の立場にも反する行為です。

党利根沼田地区委員会は、議員団長として活動してきた林議員については、その責任の重大性を考え、引責辞職することになり、6月6日、辞職届を提出しました。

党利根沼田地区委員会は、党議員への指導・援助を強めるとともに、これからも町長のセクハラ行為は許さず、「ただちに辞職を」求める活動に務めるとしています。